

2011 年度後期金曜 1 限 (C33)

「比較文化論」

担当教員：東賢太郎

第 4 回 マニラースタバとスラムが同居する街②

映像上映

作品『世界がもし 100 人の村だったら』ディレクターズエディション、フジテレビ

「家族を支えるためゴミ山で働く少女」

フィリピン①2005 年 5 月 14 日

フィリピン②2007 年 6 月 30 日放送分

リアクションペーパー

(a) 講義内容

(b) 質問・コメント

(c) クイズ：映像についての感想

参考文献

中西徹 (1991) 『スラムの経済学—フィリピンにおける都市インフォーマル部門』東京大学出版会

中西徹・児玉徹・新津晃一 (編) (2001) 『アジアの大都市 4 マニラ』日本評論社

山本宗補 (2003) 『フィリピン—最底辺を生きる』岩波書店

フィリピン共和国国歌「太陽の国」

I 太陽の国 炎のように燃える太陽の子

我々の魂よ 気高く神聖な国

誉れ高い英雄たちの生まれた国をあがめよ

この神聖な国の浜辺を侵入者どもが

踏みしめることはできない

II 空の中に雲を通して

丘や海のむこうに栄光のある自由の

燦然とした輝きを見て胸の鼓動を感じる

我々のすべての心を打つその旗印に

太陽は輝き 星はまたたく

おお その輝かしい国土は

暴君によって曇らせてはならない

III 美しい愛の国土 おお光の国土よ

それに抱かれるときの喜びがある

しかし国土が侵されるなら

我々は死守することを荣誉とする